令和９年度

学生募集要項

医　　学　　部

総　合　型　選　抜

北海道公立大学法人

札 幌 医 科 大 学

目　　次

建学の精神　理念　アドミッション・ポリシー…… 1
１　趣　　旨…… 3
２　募集人員…… 3
３　出願資格 …… 3
４　出願枠…… 3
５　入学者の選抜方法…… 4
６　出願手続等…… 4
７　身体等に障がいのある入学志願者との事前相談…… 7
８　大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等…… 8
９　第２段階選抜の配点…… 8
１０　入試過去問題の活用…… 8
１１　第２段階選抜第１次試験の実施日等…… 9
１２　総合型選抜と一般選抜への出願…… 9
１３　受験に当たっての留意事項…… 9
１４　その他の留意事項…… １０
１５　合格者の発表 …… １１
１６　入学手続…… １１
１７　入学辞退…… １２
１８　入試成績の開示…… １２
１９　入学者決定に関する疑義申立…… １２
２０　個人情報の取扱い…… １２
２１　修学のための費用 …… １３
２２　札幌医科大学後援会について…… １３
２３　その他特記事項…… １４

試　験　日　程　等

	総　合　型　選　抜
インターネット出願 登　録　開　始　日　時	令和８年９月２４日(木)１０時
出　　願　　受　　付	令和８年１０月１日(木)～令和８年１０月８日(木)１７時必着 ※出願最終日の受付は、１７時必着とします。
第１段階選抜結果発表	令和８年１１月１３日(金)
受　験　票　発　行	令和８年１１月１３日(金)予定
第　１　次　試　験　日	令和８年１１月２９日(日)
合　格　発　表　日	令和９年２月１０日(水)
合格通知書発行	令和９年２月１０日(水)１３時
入　　学　　手　　続	令和９年２月１０日(水)～令和９年２月１７日(水)１７時必着 ※最終日の受付は、１７時必着とします。 ※入学金の納付は令和９年２月１０日(水)１３時以降となります。

※　追試験は実施しません。国や自治体の方針などにより取り扱いは変更することがあります。変更は本学ホームページでお知らせします。

建学の精神　理念　アドミッション・ポリシー

北海道が設立した北海道公立大学法人 札幌医科大学は、北海道の地域医療に貢献する医療人(医師、看護師、理学療法士、作業療法士)を育成するという北海道民の強い要請に応え、次のとおり建学の精神及び理念を掲げています。

【建学の精神】

一、進取の精神と自由闊達な気風
一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

【理　念】最高レベルの医科大学を目指します

人間性豊かな医療人の育成に努めます
道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
国際的・先端的な研究を進めます

【アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)】

札幌医科大学では、カリキュラムに沿った学修によってディプロマ・ポリシーに示す水準を満たすことができる学生を求めています。そのため、高い基礎学力、文化や社会に関する基礎知識、基本的なコミュニケーション能力と協調性、自己教育の意欲と習慣を備えた学生を受け入れます。

[医学部]

○求める学生像

札幌医科大学医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的研究を通じて世界に貢献できる研究者を育てます。我々は命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある医師を育てていくために、以下に掲げる能力・資質を有する学生を求めます。

【知識・技能】

1．高等学校等で学ぶ諸教科に関して高い基礎学力を有し、強い学習意欲を有する人
2．国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

1．様々な事象に対し、関心と理解力をもつ人
2．自分自身で得た知識・情報をもとに論理的思考を行うことができる人
3．コミュニケーションに必要な口頭・文章表現力を有する人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

1．積極的に自ら物事に取り組む姿勢を有する人
2．他者の考えの理解に努め、多様な属性の人々と協調して良好な関係を築くことができる人
3．社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人

○入学までに学習しておくことが期待される内容

1．高等学校で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
   1) 医学を学習するための基礎学力：生命科学としての医学を学習するにあたって、生物、化学、物理及び数学の基礎学力は必須です。さらに、医療と医学研究の場では、人との交流が基盤となります。それを支えるコミュニケーション能力を発揮するために、論理的に思考し、相手に伝えることのできる正確な日本語と国際的視野で考え行動するための英語の学力が重要です。
   2) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎知識：医学研究と医療の実践には、人文社会科学の視点から健康・疾病を理解することが必要です。そのために、自然科学のほか、人文社会科学など幅広い領域に関する基礎知識が不可欠です。
2．自ら課題を探求し、問題を解決する学習習慣
   医師には生涯にわたる自己研鑽が求められます。自ら課題を抽出し、問題点・疑問点を解決していく積極的な学習姿勢が必要です。

３．自主的、協調的な態度と行動

チーム医療なしには医療は実践できません。医師は医療チームの一員として、他者と連携・協調して行動することが求められます。

４．健康な生活を送るための基本的生活習慣

人々の健康を守り、病に立ち向かう医師となるための精神力と体力が必要です。まず自分の健康に心がけ、基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。

○入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の３要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

入試区分	入試枠	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	一般枠	大学入学共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
	札医大卒後研修枠	大学入学共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
総合型選抜	道民枠	出願書類・調査書等	◎	○	
		大学入学共通テスト	◎	○	
		小作文	○	◎	
		面接（個人）	○	◎	◎
		面接（集団）	○	◎	◎
		自己推薦書		○	○
学校推薦型選抜	特別枠	出願書類・調査書等	◎	○	○
		大学入学共通テスト	◎	○	
		小作文	○	◎	
		面接（個人）	○	◎	◎
		自己推薦書		○	○
私費外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	◎	
		個別学力検査	○	○	

１　趣旨

札幌医科大学では、選抜方法の多様化を図り、併せて学力偏重の弊害を防ぐことを目的として、一般選抜、学校推薦型選抜に加え、総合型選抜により入学者を選抜します。

総合型選抜では入学志願者の能力・適正や学習意欲、目的意識など総合的に評価・判定し、将来医師として北海道の地域医療に貢献する意思のある人材を確保します。

２　募集人員

学部・学科		募集人員
		総合型選抜
		道民枠
医　学　部	医　学　科	２０

３　出願資格

北海道内に所在する高等学校**※1**又は中等教育学校を令和8年3月以降卒業又は令和9年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して北海道内に在住する者（ただし、既卒者にあっては出願時の住所が北海道内・北海道外を問わない）で、次のすべての要件に該当し、卒業又は卒業見込みの者

なお、本学の学校推薦型選抜（特別枠）と重複して出願することはできません。

ア　高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の学習成績概評でA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者

イ　大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験する者**

ウ　医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修を修了後、**所定のプログラム（卒後の必修プログラム）※2に従事することを確約できる者**

エ　合格した際に入学を確約できる者

※1　「北海道内に所在する高等学校」には、本校が北海道外に所在する通信制の課程を置く高等学校に在籍する者であって、北海道に設置された当該高等学校の通信教育連携協力施設においてスクーリング（面接指導）を受けている者を含む。本取扱いは、医学部総合型選抜に限る。

※2　**「所定のプログラム」（卒後の必修プログラム）**

卒業後、札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で初期臨床研修修了後、札幌医科大学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、札幌医科大学及び本学の卒後の必修プログラムに関連する**原則道内**の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事するものです。

北海道の医学・医療において指導的・中核的役割を担える医師の育成を目指します。

本学が卒後の必修プログラムの従事について、確認する際に不本意な理由で離脱する場合は、一般社団法人日本専門医機構に不同意離脱者として報告する場合があります。

４　出願枠

道民枠

ア　修学資金貸与制度はありません。

イ　出願時に、初期臨床研修修了後、**所定のプログラム（卒後の必修プログラム）に従事する旨の入学志願者及びその保護者による確約書**を提出する必要があります。

なお、この確約書の提出がない場合は、「道民枠」での出願を受け付けません。

ウ　道民枠の趣旨と要件、入学後から卒後のキャリア形成については、本学ウェブサイト（医学部入試枠・卒後必修プログラム
https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/l0re8300000000i8.html）並びに大学案内冊子「LEAP」及び「北海道の医療を担う医師育成プログラム 2026」を参照してください。

５　入学者の選抜方法

次のとおり2段階に分けて行います。

ア　第1段階選抜

志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、出願書類の内容に基づいて第1段階選抜を行うことがあります。この場合は第1段階選抜合格者にのみ第2段階選抜を行います。

イ　第2段階選抜

次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。

なお、調査書、活動報告書は面接の際の資料とします。

日程	総合型選抜
第 1 次試験	・　小作文(ミニ講義による)・自己推薦書・個人面接・集団面接
第 2 次試験	・　大学入学共通テスト

６　出願手続等

(1)　出願方法

出願手続は、インターネット出願により行います。

本学ウェブサイト(https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/vd2u2b00000001hr.html)に掲載のインターネット出願マニュアルを確認の上、インターネット出願サイトにアクセスし、出願登録を行ってください。

※　出願手続は、①出願登録、②入学検定料の支払い、③出願書類の郵送提出により、出願に必要な書類が本学に到着して完了します。
①②③のいずれかが行われなかった場合は、出願を受け付けられません。

(2)　出願等の期間

インターネット出願登録開始日時	**令和８年９月２４日(木)１０時**
入学検定料入金開始日時	
出願受付(出願書類の郵送提出期間)	**令和８年１０月１日(木)～令和８年１０月８日(木)１７時必着** **最終日は１７時必着【簡易書留・速達】**

※　システムメンテナンスのため、**令和８年９月３０日(水)１８時～翌日１日(木)６時までの間、インターネット出願サイトが停止**します。停止期間中はサイトへのアクセスが出来ないため、**出願登録及びサイトからの入学検定料の入金が出来ません**のでご留意ください。なおメンテナンス終了時刻は作業状況により前後することがあります。

(3)　出願書類の郵送方法

出願書類の提出は郵送に限ります。入学検定料の支払後に郵送してください。郵送の際は、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを市販の角形２号封筒（幅 240mm×高さ 332mm）に貼り、必要書類を入れて「簡易書留・速達」郵便で出願書類を、令和８年１０月８日(木)１７時までに必ず到着するように発送してください。

出願期間後に到着した出願書類は、受理しません。また、直接持参しても受理できません。出願期間には、土日が含まれていますので、郵便事情を考慮し、余裕を持って発送してください。

(4)　送付先

〒060－8556　札幌市中央区南１条西１７丁目　札幌医科大学事務局学務課入試係
電話011-611-2111(内線21830・21840)

(5)　出願書類等

出願書類の提出に当たっては、**本学所定の様式**を使用してください。

記入が必要な書類は必ず**ボールペン等の黒インクを使用してください。消せるボールペンの使用は禁止します。**

出願書類のうち、ウ自己推薦書、エ活動報告書、オ確約書については、**本学ホームページに掲載している様式**をご使用ください。

なお、**ダウンロードした様式のサイズ、枠線幅等の変更はしないでください。**変更された様式による提出は無効といたします。

出願書類等	摘要
ア　入学願書	インターネット出願サイトから、出願登録を行ってください。 入力の際は、画面の指示、インターネット出願ガイド、作成例を確認の上、必要事項をもれなく入力してください。 写真は、出願前３ヶ月以内に撮影した上半身(胸から上)、脱帽、背景無地、正面向きの**カラー写真（縦横比4:3)の10MB以内JPEGファイルをインターネット出願サイトにアップロード**してください。 上記登録後、入学願書をＡ４サイズの用紙にカラー印刷してください。 **大学入学共通テストの成績請求票は、出願時には貼付する必要はありません。** **なお、「令和９共通テスト成績請求票総合国公立総合型選抜用」を大学入試センターから届き次第、各自用意した封筒に入れ、令和８年１２月１８日(金)１７時までに本学に必ず到着するよう「簡易書留・速達」にて郵送してください。** **【送付先】** **〒０６０−８５５６　札幌市中央区南１条西１７丁目** **札幌医科大学事務局学務課入試係**
イ　入学検定料 **１７，０００円**	インターネット出願サイトより、入学検定料の支払い方法を選択し、それぞれの手順に従い、入学検定料を支払ってください。 ※支払い方法は、クレジットカード払い、PayPay払いまたはコンビニエンスストア払いのいずれかにより行います。事務手数料は出願者負担となります。 ※支払後に受け取るお客様控等は、本人控として大切に保管してください。 **(注)　入学検定料の返還請求** 入学検定料の返還請求は、以下の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても納付済の入学検定料は返還しません。 **１　入学検定料返還請求ができる場合** (1) 第１段階選抜の結果、不合格となった場合(13, 000円を返還します。) (2) 大学入学共通テストの受験科目が不足しているため、出願資格がないことが判明した場合(13, 000円を返還します。) (3) 入学検定料を納入したが、入学願書を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合 (4) 入学検定料を誤って二重に納入した場合 **２　返還請求方法について** 上記(1)の場合・・・第1段階選抜の結果を通知する際、返還手続に必要な書類を郵送します。 上記(2)の場合・・・出願無資格者である旨を通知する際、返還手続に必要な書類を郵送します。 上記(3)及び(4)の場合・・・本学ホームページに必要書類や請求方法等の詳細を掲載します。 なお、返還請求の際、検定料を支払ったことを証明できる書類が必要になりますので、大切に保管してください。
ウ　自己推薦書	**北海道の医療に対する想いを含めて記述してください。本学ホームページに掲載している様式をA3サイズで印刷したものに、必ず自筆により、１，６００字以内で記入してくださ**

	い。
エ　活動報告書	高校生活等の学業や課外活動若しくは校外活動で達成できたこと、自信を持って言えることなどを、**必ず自筆**により記入してください。
オ　確　約　書 （道民枠）	**本学ホームページに掲載している様式をＡ４サイズで印刷したものに、必ず自筆により、記入してください。変更された様式による提出は無効とします。** 一般選抜（札医大卒後研修枠）、総合型選抜(道民枠)、学校推薦型選抜（特別枠）の確約書は様式が異なるので留意してください。
カ　調　査　書	高等学校長又は中等教育学校長等が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものを提出してください。 ただし、調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて厳封した成績証明書又は単位修得証明書等を提出してください。
キ　住民票等	最終学年を含む３年以上継続して道内に在住していることを確認できる次の書類のいずれかを提出してください。 ① 住民票抄本（又は戸籍の附票）（出願前３ヶ月以内の原本） ② 高等学校等が発行する在籍証明書（※①による証明が困難な場合に限る） なお、本校が北海道外に所在する通信制高等学校の在籍者又は卒業者は、住民票等に加え、北海道内の通信教育連携協力施設におけるスクーリング（面接指導）の受講場所及び受講期間を証明する書類（スクーリング受講証明書等）を提出してください。

（注） 高等学校等コードを記入する出願書類は、「高等学校等コード表」を参照して記入してください。

(6)　その他

ア　出願書類に不備がある場合は、受理しません。

イ　出願書類は、受理した後いかなる理由があっても返還しません。

ウ　入学願書の志願者氏名と調査書等の氏名が異なる場合は、同一人であることを証明できる書類（戸籍抄本等）を必ず添付してください。

エ　その他、本人確認のために必要な書類の提出を求める場合があります。

7　身体等に障がいのある入学志願者との事前相談

本学への入学志願者で、次表に該当する場合（学校教育法施行令第２２条の３に準拠）は、受験上及び修学上の配慮が必要となることがありますので、令和８年９月４日(金)までに必ず本学事務局学務課入試係へ、「身体等に障がいのある入学志願者の受験上の配慮申請書」を提出してください。必要に応じ、本学において、原則入学志願者及び保護者、又はその立場を代弁しうる者等との面談を行います。

申請様式掲載場所：https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/fh7a0100000001el.html

問い合わせ先：札幌医科大学事務局学務課入試係　電話011-611-2111(内線21830・21840)

ア　両眼の矯正視力が０．３未満の者又は視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者
イ　両耳の聴力レベルが６０デシベル以上の者のうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度の者
ウ　肢体（上肢・体幹・下肢）不自由の状態により、立位もしくは座位の保持又は歩行することが不可能又は困難な者
エ　肢体（上肢・体幹・下肢）不自由の状態により、筆記又は実験・実習をすることが不可能又は困難な者
オ　慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
カ　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度の者
キ　上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有する者

※１　申請内容を確認のうえ、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。
内容によっては、受験上の配慮が十分に提供できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

※２　申請期限後、怪我等により急遽特別な配慮を要する事由が生じた場合は、直ちに上記問い合わせ先までご連絡ください。

※３　申請後に本学へ出願しないこととなった場合、または、出願後に受験を取り止めた場合には、その旨速やかにご連絡ください。

※４　提出期日後に申請があった場合は、受験上の配慮が十分に提供できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

8　大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

道民枠（６出題教科８出題科目）

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法
国語	『国語』	必須
地理歴史・公民	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共（2出題範囲を選択）』『公共，倫理』『公共，政治・経済』	左記の出題科目から1出題科目を選択（注 1）
数学	『数学Ⅰ，数学 A』	必須
	『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』（注 2）	必須
理科	『物理』『化学』『生物』	左記の3出題科目から2出題科目を選択
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	左記5出題科目から1出題科目を選択 （英語はリスニングの成績も判定の対象とします）
情報	『情報Ⅰ』	必須

（注1）地理歴史・公民から2出題科目を受験している場合は、第1解答科目を合否判定の資料として用います。第1解答科目で本学が指定した科目を受験しなかった場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定した科目を受験した場合でも、地理歴史・公民を受験しなかったものとみなします。なお、地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに倣います。

（注2）『数学B』及び『数学C』については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学C）の4項目に対応した出題とし、4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

9　第２段階選抜の配点

教科	小作文	面接（個人・集団）	自己推薦書	大学入学共通テスト※	総合点
第２段階選抜	200	250	50	1,000	1,500

※大学入学共通テストの配点内訳

科目	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200※	100	1,000

※　英語の場合、リーディング100点＋リスニング100点＝200点とします。
ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

（注）面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、総合点の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

10　入試過去問題の活用

ア　本学は、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要な範囲において、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

イ　入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

ウ　「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。https://www.nyushikakomon.jp/

11　第２段階選抜第１次試験の実施日等

試験日	教科等	実施時間（予定）
令和８年１１月２９日(日)	小作文（ミニ講義による）	１０：００～１１：３０
	面接（個人及び集団）	１３：００～

（注１）集合時間は、午前９：００～午前９：４０(予定)です。確定時間は受験票交付時にお知らせします。
（注２）小作文を受験しなかった者は、面接を受験できません。

(1)　第２段階選抜第１次試験の当日に持参する物

ア　札幌医科大学医学部受験票**（各自でインターネット出願サイトから印刷して持参してください）**
※ 入学手続の際にも必要となるため、紛失しないように注意してください。
イ　黒鉛筆（シャープペンシル可）・消しゴム・鉛筆削り

(2)　試験場

札幌医科大学教育研究棟　札幌市中央区南１条西１７丁目

ア 教育研究棟西側より入り指示に従ってください。最終ページの建物配置図も参照してください。
イ 受験者入口は変更することがありますのでご注意ください。
ウ 受験票交付時のお知らせや、当日の案内表示等をご確認ください。
エ 試験場の下見は玄関前までとし、入場はできません。

12　総合型選抜と一般選抜への出願

総合型選抜の出願者は、本学の総合型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。

ただし、大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目については、出願する大学・学部の指定するところによります。

なお、本学の一般選抜に出願する場合は、総合型選抜の出願とは別に出願しなければなりません。

13　受験に当たっての留意事項

ア　国公立大学の総合型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られており、本学の総合型選抜に出願した者は、他の国公立大学の総合型選抜に出願することができません。
イ　総合型選抜の合格者は、入学辞退の許可を得た者を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。
ウ　**本学の総合型選抜(道民枠)と学校推薦型選抜(特別枠)との併願はできません。どちらか一方への専願となります。**
エ　**他の国公立大学の総合型選抜及び学校推薦型選抜との併願は認めません。**
オ　合格者が入学手続完了後、当該高等学校又は中等教育学校を卒業できない場合は、入学許可を取り消します。
カ　総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の募集人員に加えます。
キ　次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、その教科・科目等の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

① 出願書類・解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学願書や受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入することなど。）をすること。
② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり、見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に問題冊子を開いたり解答を始めること。
⑦ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチを含むウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、本要項(p.7)第７のキに従い事前相談してください）。
⑨ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

ク　上記キ以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、キと同様です。

① 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチを含むウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に着けていたり、手に持っていること。
② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

14　その他の留意事項

ア　**天候、事故、その他の事情により交通機関が乱れることがありますので、時間には十分に余裕を持ち、遠隔地の受験者は早めに受験地に到着する等、ご注意ください。**
イ　試験場には駐車場はありませんので、必ず公共交通機関等をご利用ください。
ウ　試験当日は、午前９時から会場に入ることができます。
エ　保護者の控室は用意しておりません。
オ　試験室の下見はできません。
カ　試験場の建物及び本学敷地内は、全面禁煙です。
キ　受験者への宿泊施設の斡旋は行っておりません。
ク　受験票に記載の「受験上の注意」をよくお読みください。

15　合格者の発表

<table>
<tr><th>区分</th><th>発表日時</th><th>掲示方法等</th></tr>
<tr><td>第１段階選抜
（受験票交付開始）</td><td>令和８年１１月１３日(金)
午前１０時（予定）</td><td rowspan="2">本学ホームページ
https://web.sapmed.ac.jp/

大学情報センターのホームページ
https://daigakujc.jp/sapmed/

に掲載します。(ホームページへの掲載は、午前１０時以降となります。)

※大学構内への掲示は行いません。

合格通知書の郵送は行いません。インターネット出願サイトからダウンロードのうえ印刷してください。</td></tr>
<tr><td>第２段階選抜</td><td>令和９年２月１０日(水)
午前１０時(予定)</td></tr>
</table>

ア　第１段階選抜を実施した場合の結果は、合格者の受験番号を発表するとともに、インターネット出願サイトから合格者に通知します。なお、第２段階選抜第１次試験を受験できる者には、受験票をインターネット出願サイトから交付することで、第１段階選抜の合格通知に代えます。

イ　第２段階選抜の結果は、合格者の受験番号を発表するとともに合格者本人にはインターネット出願サイトから入学手続に必要な書類を送付します。**本人あての合格通知書は、郵送しません。必要な方は、下記の入学手続期間内に、インターネット出願サイトからダウンロードのうえ印刷してください。**

ウ　いずれの場合も、合否に関する電話等での問い合わせには、一切応じません。

16　入学手続

(1)　手続期間

令和９年２月１０日(水)～令和９年２月１７日(水)１７時必着

この期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

なお、入学金の納付は令和９年２月１０日(水)１３時以降となります。

(2)　書類の提出方法

郵送に限ります。「簡易書留・速達」郵便により、令和９年２月１７日(水)１７時までに必ず到着するように発送してください。

手続期間後に到着した書類は、受理しません。郵便事情を考慮し、余裕を持って発送してください。

(3)　手続に必要な書類等

ア　札幌医科大学医学部受験票

イ　大学入学共通テスト受験票

ウ　大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」

エ　入学料　282,000円（本学電子申請サイトから納入してください。）

オ　その他、入金方法を含めた入学手続の詳細については、合格者にのみ別途お知らせします。

※　入学料は変更することがあります。

※　入学許可書の郵送は行いません。必要な方は本学電子申請サイトからダウンロードのうえ印刷してください。

17　入学辞退

ア　合格者が、特別の事情により入学を辞退しようとする場合は、本学学長あての**「入学辞退願」**(様式は自由)を、入学を辞退する理由を記載して**令和９年２月１７日(水)１７時**までに提出してください。

イ　入学手続完了後に入学を辞退した場合、納入した入学料及び提出書類等は、いかなる理由があっても返還しません。

18　入試成績の開示

開示方法	開示場所での閲覧
開示内容	ア　大学入学共通テストの教科・科目別得点 イ　本学入学者選抜試験の総合得点を合格最低点から５％きざみでランク表示したもの ウ　総合得点の順位を５番きざみでランク表示したもの
請求できる者	受験者本人
持参する物	ア　札幌医科大学医学部受験票 イ　大学入学共通テスト受験票
開示期間	ア　不合格者 令和９年４月８日(木)～令和９年４月１５日(木) イ　合格者 令和９年４月１６日(金)～令和９年５月１４日(金) (土・日・祝日を除きます。) ９：００～１１：３０／１３：３０～１７：００
開示場所及び問い合わせ先	札幌医科大学事務局学務課入試係 電話011-611-2111(内線21830･21840)

※開示期間に開示場所に来ることができない場合は、上記問い合わせ先までご連絡ください。

19　入学者決定に関する疑義申立

入学試験の入学者決定に疑義がある場合は、下記により、受験者本人による疑義申立を受け付けます。

申立方法	本学が指定する提出書類を郵送により、事務局学務課入試係へ提出 ※詳細は、令和９年４月上旬頃に、本学（受験情報）サイトに掲載します。
申立できる者	受験者本人
提出書類	ア　入学試験の入学者決定に関する疑義申立書（様式第１） イ　札幌医科大学医学部受験票 ウ　返信用封筒
疑義申立期間	令和９年４月１６日(金)～令和９年４月３０日(金)必着 (土・日・祝日を除きます。)
提出先及び問い合わせ先	札幌医科大学事務局学務課入試係 電話011-611-2111(内線21830･21840)

20　個人情報の取扱い

ア　国公立大学の合格者決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報が、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

イ　本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守すると共に「個人情報の保護に関する法律の施行に関する北海道公立大学法人札幌医科大学規則」に基づき管理します。

ウ　入学志願者から得られた出願書類に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜及び入学手続等の諸業務、入学者選抜方法等の調査研究・改善を行うために利用します。

エ　入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査研究・改善を行うために利用します。

オ　入学者についてのみ、出願書類に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情

報については、本学の学籍管理、学習指導、キャリア支援、学生支援関係業務（授業料免除・修学資金申請等）及び授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

カ　調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

21　修学のための費用

(1)　入学初年度は、次の費用を必要とします。

- 入 学 料　　282,000円
- 授 業 料　　535,800円（年額：４月と１０月の２期に分納）
  ※　なお、上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。
- 教科書等　　約80,000円～100,000円
  ※　金額は、毎年度異なります。

(2)　その他の費用

- 共用試験（Pre-CC OSCE、CBT）受験料　　33,000円　（４年生）
- 共用試験（Post-CC OSCE）受験料　　20,000円　（６年生）
  ※　金額は変更になる場合があります。
  ※　再試験受験の場合、別途同額を必要とします。
- その他、実習で大学の外にある施設に配置された場合の宿泊費や交通費等の諸経費は、原則として自己負担になります。

22　札幌医科大学後援会について

「札幌医科大学後援会」は、本学の教育事業を後援し、その発展に協力することを目的とし、学生の福利厚生及び課外活動への支援等、平等かつ公平な事業内容に心がけ、次の事業を行っています。

なお、入学者の保護者の皆様には、特段の事情がある場合を除き、本会にご加入いただいています。

会　費　　医　学　部　200,000円

※　原則として一括納入

事業内容

ア　医学及び保健医療学専門書や国家試験関係図書を附属総合情報センター(図書館)に寄贈しています。
イ　学生生活及び実習における事故や傷害等を補償する保険の保険料を助成しています。
ウ　学生の海外派遣（語学研修・臨床研修）経費を助成しています。
エ　学生の学外実習に要する経費及び必要な予防接種費等を助成しています。
オ　国家試験対策に係る経費を助成しています。
カ　大学祭等各種行事及びサークル活動に要する経費を助成しています。
キ　その他、本会の目的達成上必要と認める事業を行っています。

23　その他特記事項

・　試験実施内容等を変更することがありますので、本学ホームページ等、本学からの発表にご注意ください。

・　その他受験に際しての留意事項等は、本学ホームページや受験案内等でお知らせしますので必ずご確認ください。

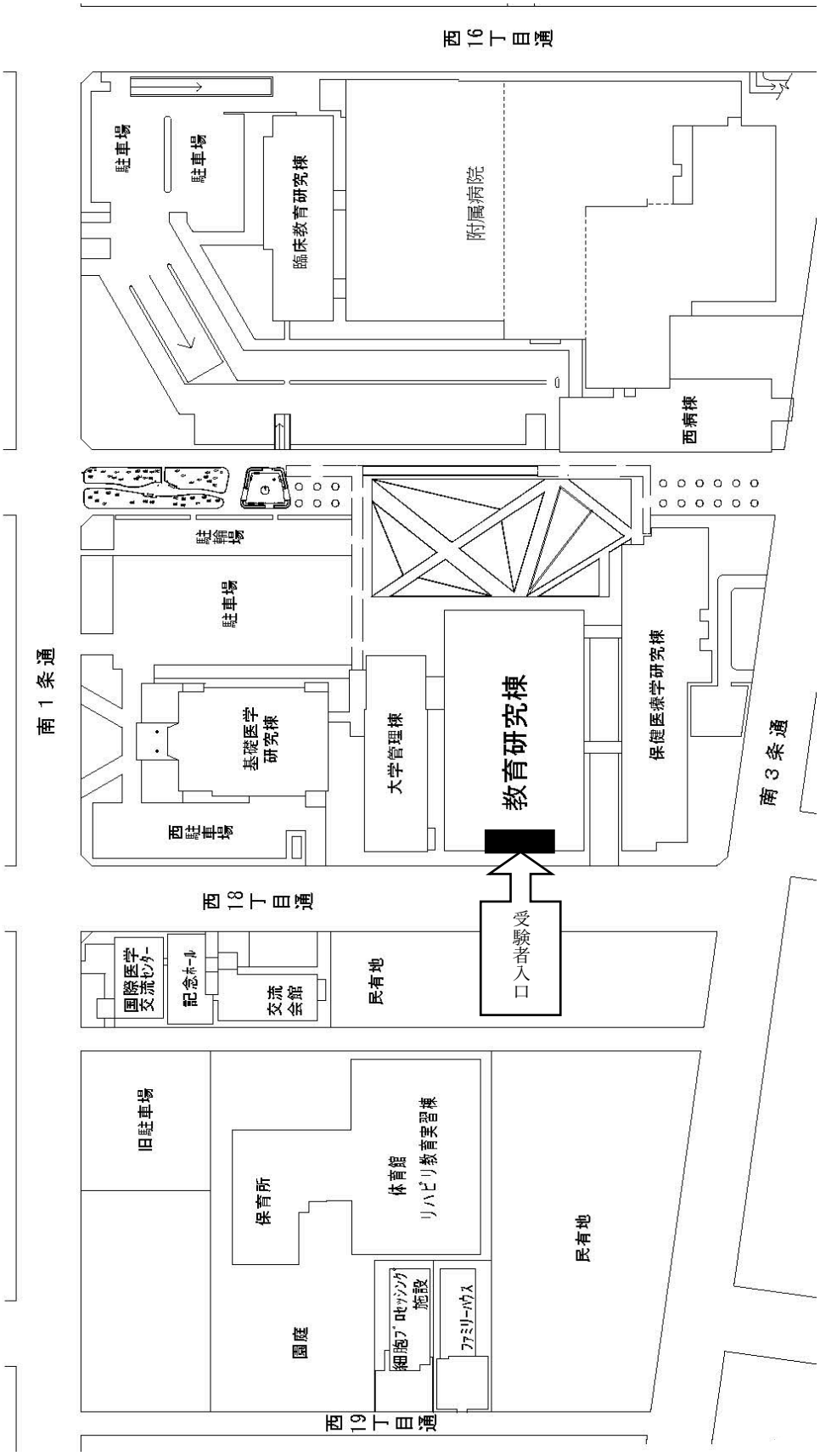
札幌医科大学ホームページ　入試情報

https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/

受験情報

https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/l0re8300000005oi.html

札幌医科大学建物配置図



※ 受験者入口は変更することがありますのでご注意ください。
受験票交付時のお知らせや、当日の案内表示等をご確認ください。

問い合わせ先

〒０６０−８５５６
札幌市中央区南１条西１７丁目
札幌医科大学事務局学務課入試係
電話０１１−６１１−２１１１（内線２１８３０・２１８４０）
８：４５～１７：３０（土・日・祝日を除く。）

＊問い合わせは、やむを得ない場合を除き入学志願者本人が行ってください。